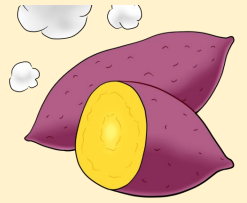


昭和肥料ニュース

FAX版



Vol. 038

弊社には日々、土づくり相談や施肥指導の依頼があり、いずれも「秀品安定多収」が必須の目標となっております。ところが同時に悩みも多く①コスト高②病害虫発生③人不足などが大半を占めます。これら3つの悩みは全く別物ですが、根底は繋がっていることも多く、結局は「土づくり（土を知る）」が大切と日々感じています。

基本の土づくりがモノを言う

地域のトップ生産者様の圃場を拝見すると、作物の根の張りが素晴らしく、地上部は細マッチョ体質（一見細めだが、莖葉がシャキッとして品質が良い）であることが多いです。何をしているか聞くと、以下の内容が多く返ってきます。作物の特性ごとに合わせた・・・

- ①土壌水分管理（排水対策、灌水周期の拘り、マルチ資材の使用・工夫）
- ②土壌pH矯正の徹底（アルカリ資材や硫黄資材の使用、土壌診断の実施）
- ③微生物への意識・関心（消毒効果期間の把握、菌資材使用、自家製堆肥使用）
- ④適期追肥の実施（天候を見て対応している、手間を惜しまず行っている）
- ⑤防除は予防9割、完璧を目指さない（①～④をするとそもそも蔓延しない）

・・・さて、特別な事でしょうか？ 正に「基本」と言えることです。

だから、トップ生産者様ほど「特別なことはしていない」とおっしゃいます。これらの他にも、輪作実施、ローテーション休耕地をつくる、健苗づくり徹底、なども聞かれ、上記に劣らない立派な基本技術です。

肥料高騰、みどりの食料戦略… 基本は益々大事

弊社製品の、貝化石製品、硫黄製品、微生物製品、微量要素製品は上記①、②、③に貢献できます。全国の根強いリピーター様が弊社製品を上手に使用されて土を良くし、高い肥料・薬剤・人件コストを節約されています。袋単価だけで資材を選ばず、機能面が生み出す「利」を見極めることが大切なのは言うまでもありません。

（土づくり相談、商品へのご質問がございましたらご気軽に弊社へご連絡ください。）

また最近注目の③に関連し新商品が間もなく誕生します！（残渣分解&連作障害抑制&肥料流亡軽減 緑肥や堆肥との併用に◎これは売れます！）

みどりの食料戦略に対応する微生物資材や土着菌を活性化する土づくり肥料は今後NPKと同様にお客様の関心や利用が高まるでしょう。これを商機にするためにも、微生物を活かす「基本」の土づくりを憶えておいてください。

お問い合わせは TEL 0766-67-2700 FAX 0766-68-1227
 HPアドレス https://showa-f.co.jp まで、お待ちしております